

地区だより

…………… 令和4年11月1日発行

# ちゅうおう

<地区人口と世帯数>

男 18,931人 女 20,433人  
計 39,364人  
世帯数：20,875世帯  
(10月1日現在)

2022

11月号

## 市からのお知らせ

【編集発行】

福島市役所広聴広報課  
〒960-8601 福島市五老内町3-1  
☎525-3710 ㊟536-9828

### 9月11日開催 三河台クリーンアップチャレンジ ごみ拾いで競争しよう♪

「中央西地区ふくしま共創のまちづくり計画推進懇談会」の主催事業として、三河台地区にお住まいの方々などを対象とした「ごみ拾い」イベントを開催しました。

当日は、子どもからお年寄りまで幅広い世代の方々に参加いただき、拾ったごみの重さと質を競う環境にやさしいゲームを行うだけでなく、防災に関するワークショップも行いました。

当懇談会においては、今後も、地域の皆さんが楽しく地域課題を解決する事業を実施しながら「ふくしま共創のまちづくり計画」の推進を図ります。

■問／地域共創課 TEL 525-3731



▲総勢62人の方に参加いただきました



▲懇談会代表の江川純子さんから参加者に対して記念品を贈呈



### ● 令和4年度地域環境保全功績者を表彰 ●

10月2日、こむこむで、地域環境保全功績者表彰式を開催し、地域の環境保全、環境美化、不法投棄防止などに長年関わるなど顕著な功績のあった個人、団体を表彰しました。

中央地区では、「野田町北部町会 子供会」を長年活動されたごみ減量化の取り組みの功績を称え表彰しました。

■問／環境課 TEL 525-3742

#### 活動内容

「素敵な町会づくり」を掲げ、町内のスリーアール活動についてチラシの作成や配布により普及啓発活動を展開しているほか、廃品回収の実施によりごみの削減やリサイクルを呼び掛け、ごみの減量化に努められています。

町内の環境保全について意識改革と啓発を図るため、子供会の行事として長年にわたり活動し、地域のごみ減量化に大きく貢献されています。



▲表彰式に出席された会長の菅野陽子さん

### 地区内の工事情報

工事箇所	工事種別	予定工期		備考	担当課
		着工	完了		
信夫山子供の森公園 (小金山)	遊具更新工事	令和4年 10月上旬	令和5年 2月上旬	・作業時間 午前8時30分～午後5時 ・工事期間中は更新する遊具の使用はできません	公園緑地課
ふたつやま公園 (野田町字清水尻)	遊具更新工事	令和4年 10月上旬	令和5年 2月中旬	・作業時間 午前8時30分～午後5時 ・工事期間中は更新する遊具の使用はできません	公園緑地課

# 中央学習センターからのお知らせ

【編集】福島市中央学習センター  
〒960-8018 福島市松木町1番7号  
☎534-6631 ☎533-7592

## 第53回 中央地区文化祭 開催!!

利用団体の方々の作品展示、芸能発表の動画放映、主催事業の各作品展示、こども広場を実施します。

◇と き 11月3日(休)～11月6日(日) 午前9時～午後5時30分(最終日は午後3時まで)  
※芸能動画放映、こども広場は11月5日(土)、6日(日)のみ。

◇ところ 中央学習センター

◇主催 第53回中央地区文化祭実行委員会、福島市中央学習センター



### 中央地区文化祭【こども広場】体験コーナー

今年は、3年ぶりに【こども広場】が復活します。子どもたちが楽しく学んで、遊んで、体験できるコーナーを設けます。各コーナーとも無料で参加できます。各コーナーに参加すると、景品がもらえます。来てからのお楽しみにしてくださいね。中央地区の子どもたちの作品展示も実施します。たくさんのご来場をお待ちしております。みんなで中央学習センターに遊びに来てね!

**体験コーナー** 11月5日(土)・6日(日)  
○星座早見盤作り、バルーン作り・昔遊び・手話体験、吹矢体験、三味線・和太鼓体験、折り紙体験・芳香剤づくりなど

**会場** 中央学習センター

※各体験コーナーの実施期日・時間が異なりますので、後日小学校に配布する【こども広場】開催案内チラシをご覧ください。

### 文化祭特別企画「街なかれきし散歩」

中央地区にはむかし福島城や奥州街道がありました。そんな歴史をひも解きながら街なかを歩いてみませんか。

コース①「電車通り沿い奥州街道をめぐる」(北町、豊田町方面)

○日時 11月5日(土)  
○案内 ふくしまけん歴史の案内人の会

コース②「江戸福島城をめぐる」(中町、杉妻町方面)

○日時 11月6日(日)  
○案内 福島歴史探訪会

(コース①②共通)

○時間 午前10時～11時30分

○定員 一般20名(先着順)

○集合 中央学習センター玄関前

※申込みは10月20日(休)～11月4日(金)までに電話もしくは右記QRコードにて申込みください。⇒



## 受講生募集! 参加してみませんか? ※受付時間は午前9時～午後5時45分まで(火曜日・祝日は除く)

### ふくしま花のまちづくり事業 花のまちガーデニング教室「冬花の寄せ植え」

- 日時 11月26日(土) 午前10時～正午
- 場所 中央学習センター 2階ホール
- 対象者 中央地区在住・在勤の方
- 定員 15名(先着順)
- 参加費 1,500円
- 講師 あとりえ・悠然代表  
五十嵐 和恵 先生
- 内容 冬花の植え方や手入れの仕方など、実際に寄せ植えを体験し、冬のガーデニングの基礎知識を学びます。
- 持ち物 ゴム手袋、移植ベラ、寄せ植えお持ち帰り用の袋、汚れてもよい服装(エプロンなど)
- 申込み 11月12日(土)～11月18日(金)まで参加費を添えて中央学習センター窓口まで  
11月13日(日)より電話受付をします。



### 親子書き初め教室

冬休みになると、学校から「書き初め」の課題が出されることでしょうか。自分だけでは思ったように書けない人、もっと上手に書きたい人のためにお手伝いをします。親子で書き初めに挑戦してみませんか!

- 日時 12月24日(土)
  - ・午前10時～正午 小学1年生
  - ・午後1時～3時 小学2年生
- 12月26日(月)
  - ・午前10時～正午 小学3年生
  - ・午後1時～3時 小学4年生
- 12月28日(水)
  - ・午前10時～正午 小学5年生
  - ・午後1時～3時 小学6年生



○場所 中央学習センター 2階ホール  
○定員 各学年親子で12組(先着順)

※詳しくは、後日小学校から配布される「親子書き初め教室」募集チラシをご覧ください。

## 令和やさしい地元学 信夫野・歴史の細道 第20回

ふくしまけん歴史の案内人の会  
(元福島県遺跡の案内人の会)

会長：紺野義行氏

### 黒沼と隻眼(せきがん)・独眼竜政宗

信夫山の麓にある黒沼といっても、今は公園に整備され沼はなくなっているのを見ることはできない。この黒沼には片葉の葦(あし)が生え、片目の鮒(ふな)がすんでいるといわれてきた。隻眼伊達政宗にまつわる伝説である。政宗は青葉城を築城する際、羽黒権現(はくろごんげん)と別当寂光寺(じゃっこうじ)を移遷し、城の近くの沼に黒沼の名を移した。その沼に棲む片目魚の信仰は仙台ではこれ以前には伝えられていなかったとされ、また、隻眼の上人(しょうにん)万海が黒沼のほとりで修行し、垢離(こり:水を浴びて清める)をとったからであるという伝承もこの後発生したものと思われる。黒沼のある経ヶ峰(きょうがみね)を墓所と定めたのは政宗自身の意思によるという。石棺を納めるために掘っていたところ、地中に石室があった。近くの古老によるとそこは万海上人の廟所(びょうじょ:お墓)であったという。

政宗の誕生と幼少の名の由来には次のような言い伝えがある。

母義姫は子が授かるように、山形の高島町にある亀岡文殊堂の近くに住む行者、長海上人を訪れ、湯殿山に祈願を頼んだ。長海上人は湯殿山で祈願し、その湯に梵天(ぼんてん)を浸し持ち帰り、御寝所の屋根に安置したところ、その晩義姫の枕元に老僧が現れ「胎内に入っているか?」と尋ねた。輝宗(16代)に相談したところ、「それは瑞夢(すいむ:縁起の良い夢)というやつだ。めでたいことだ」と喜んで承諾した。再び老僧が現れ、義姫が許可をすると、老僧は義姫に幣束を授け「胎育し給え」と言って立ち去った。この老僧こそ湯殿山で修行した聖人万海上人だった。

まもなく義姫は懐妊して男子が生まれた。その話を聞いた長海上人は「梵天」と名付けた。政宗は誕生時点から片目であったわけではなく、5歳のときに天然痘にかかったためであるが、隻眼の政宗は万海上人の生まれ変わりとされた。



信夫山公園内の黒沼跡

新型コロナウイルスの影響により、講座の内容が変更・中止になる場合がございますのでご了承ください。